

成田市教育委員会会議議事録

令和3年12月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和3年12月21日 開会：午前10時 閉会：午前11時11分

会 場 成田市役所6階中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	堀 越 正 宏
教育総務課長	多 田 隆 博
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	葉 山 憲 一
教育指導課長	廣 田 一 利
生涯学習課長	堀 越 千 里
学校給食センター所長	鈴 木 孝
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	伊 藤 照 枝
教育総務課長補佐 (書記)	若 山 直 人

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤委員、片岡委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○11月16日 令和3年度 第1回成田市生涯学習推進協議会について

本年度第1回目の推進協議会を行い、新たに選任された11人の委員の方と再任された9人の方に委嘱状を交付しました。また、本協議会の会長には社会教育委員の日暮健氏が、副会長にはスポーツ協会の村島義則氏が再任されました。この日は第2次生涯学習推進計画及び第2次生涯スポーツマスタープランの数値目標等の結果について、と、第3次生涯学習推進計画及びスポーツ振興マスタープランについて協議しましたが、協議終了後、次回、令和4年度からは生涯学習分野とスポーツ振興分野をそれぞれ、教育委員会部局、市長部局に分けて開催することを確認しました。今回委嘱した協議会委員はそれぞれ、社会教育とスポーツ振興とに分けて委嘱しており、本協議会が分離しても支障はないのですが、私は、行政改革の視点で考えるとこれで良いのか、という疑問は残りました。

○11月18日 令和3年度 成田市表彰式について

今年度の表彰式には全委員さんが出席されておりますので、私の方からは特にご報告する内容はございません。もし皆様から何かお気づきの点がありましたら、後程ご意見を頂きたいと思っております。

○11月21日 令和3年度 家庭教育・地域教育力向上講演会について

大栄公民館の大ホールで開催いたしました。当初の予定が台風の接近で延期されておりましたので、この日に実施となりました。新型コロナウイルス感染症の状況としては感染者数が相当少なくなってきたはいましたが、念のため、入場者数を制限し、感染防止策を施した上で実施しました。今回は元世田谷区立桜丘中学校校長の西郷孝彦氏のご講演で、テーマは「新時代の学びとこれからの子どもたちの育て方」と題して、ご自身の中学校長時代の経験をもとにしたお話を伺うことができました。校則を無くし、子どもの自主性を尊重した学校経営は注目を浴びましたが、その過程で起きた様々な事柄を、事例をもとに丁寧にお話ししてくださいま

した。私が特に共感した部分は、子どもの話を否定せず、じっくり聞いてあげること。愛情をもって子どもと接し、子ども一人ひとりを大切にする、というお話でした。限られた参加者ではありますが、大変良いお話を聞けたものと思います。

○11月22日 令和3年度 第2回成田市学区審議会について

今回は特に審議する課題があったわけではなく、今年度開設した豊住小学校の「小規模特認校の状況について」と、「指定学校変更・区域外就学の状況について」の2件の報告をいたしました。

○11月29日 令和3年度 第2回コミュニティ・スクール導入検討委員会について

県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室からお二人の講師を招き、コミュニティ・スクールの基本的な内容についてお話を伺いました。ただお話を伺うだけでなく、話の途中で参加者から質問を受け、随時お答えいただく形で会が進められました。今ほとにかく疑問点を少しでも解消し、どうしたらコミュニティ・スクールが実現できるか前向きな検討が必要です。特に教育委員会が先頭に立ってコミュニティ・スクール化を進めなければいつになってもこの話は進展しません。今後も積極的な運営を目指してまいります。

○12月17日 成田小学校建替え検討委員会及び幹事会合同会議について

学校施設長寿命化計画により、令和6年度から令和9年度にかけて建替えを計画している成田小学校について、庁内で組織する検討委員会と幹事会の第1回目の合同会議を行いました。会議では、参加した委員から、現在の学校施設の状況、今後の児童数の推移、開発される地域の学区等、参考となる資料がないと協議が進まない、などの指摘がありました。今回は第1回目の会議ということで大雑把な説明になってしまったことは否めず、提案した事務局側も反省すべき点が多々ありました。次回の会議に備え、資料を充実させてわかりやすい説明をするなどして、建替え計画を進めていきたいと思えます。

○12月 6日・9日～10日 教育長・校長人事面接（一次）について

年度末人事異動に関する校長との面談を実施しました。今年度末は定年退職を迎える校長が7名、教頭が3名。この他、教諭層でも20名を超える退職者があり、この内40歳以下の若年層の退職も6名、さらに県外の学校に異動する者が1名という状況です。さらに各校の学校運営を中心になって支えてきた教諭層が同一校勤務7年という一定の基準に達しており、今年

度末は厳しい人事異動になりそうです。何とか今後の学校を支える人材の確保に努めてまいりたいと思います。

市議会

○11月26日～12月15日 令和3年12月定例会について

今議会では、11人の議員さんから一般質問を頂戴しました。学校教育では不登校支援、ICTの活用、学校給食、ジェンダー平等、公民館とコミュニティーセンターの問題等々、たくさんの質問がありました。特に、不登校支援策としてタブレット端末を活用できないか、との質問は複数の議員さんからあり、教室での授業と家庭でのタブレット端末を利用したオンライン授業のハイブリッド授業についても言及されました。どの問題にも丁寧にお答えいたしました。ハイブリッド授業については、私自身はあまり効果的な方策であるとは思っていません。というのも、今や家庭にいても、様々な教育コンテンツを利用できる状況であり、それらのほとんどは、視聴するものの立場に立って実によく考えられた内容となっています。家庭で学習しようと思えば既にいくらかでも学習できる環境にあると言っても過言ではないからです。それに比べて、今、学校でできるハイブリッド授業は、教室の後方から黒板に向かって一方向だけ撮影できる固定式カメラで撮り続けるだけの授業にしかありません。そもそも学校では撮影専門のスタッフを配置できるほどの体制にはないからです。結局、学校の授業は視聴者の関心を引くほど楽しいものにはできず、子どもたちがこの画面を長時間見続けるのは相当困難だと思うのです。しかし、それでも、要請があるなら、できる限りのことはやってあげたい。それが子どもたちの学びを支える側の思いです。なお、今議会も、執行部から提案した全議案が全会一致もしくは賛成多数で可決されました。

○9月14日 教育民生常任委員会

今議会に教育委員会から提案していた議題、「成田市滑河文化財保存展示施設の設置及び管理に関する条例を制定するについて」を含む議案7件と、陳情1件について審査していただくとともに、執行部から「教育に関する事務の点検及び評価について」を含む3件の報告をさせていただき、各常任委員の皆様からご質問やご意見を頂きました。この中で特に問題となるような点はなく、全議案全会一致で可決すべきものと決しました。特に成田市滑河文化財保存展示施設については、長年の要望がようやく叶えられたという点で、議員さんからも評価していただくことができました。今後の有効活用に努めてまいりたいと思います。また、教育事務の点検評価については、特に課題とすべきご意見もありませんでした。

その他

○11月17日 第5回成田市校長会議について

新型コロナウイルス感染症の拡大が抑えられつつあるということで、まずは教育指導課長から今後の対応について各校の校長先生方に周知するとともに、学務課長からは教職員の不祥事防止と、年度末人事異動について、また、年末の学校閉庁期間を12月28日から新年1月4日までとすることを伝えたところです。

○11月18日 千葉県教育庁北総教育事務所 次長訪問について（三里塚小）

教育事務所の学校訪問はこれが今年度最後となりました。三里塚小は私が教員としてのスタートを切った思い出の学校ですが、校舎の増築や大規模改修、体育館の改築、校庭の再整備等、当時の面影がわずかに残る程度になっています。また、どの学級にも外国籍の児童や学習に集中できない児童が複数いて、私の時代とは違った指導の難しさを感じたところです。学校訪問では子どもたちの学校における日常生活のほんのわずかな部分を垣間見るに過ぎません。そういえば、当時、私の学級に、「先生、今日はお客さんが来る日でしょう。私、頑張ってたくさん手を挙げるからね。」と言って励ましてくれる子どもがいました。人の気持ちを見抜いたやさしさと賢さを兼ね備えた素晴らしい子どもでした。教員のなり手がいない現状ではありますが、教員になると、こんな素敵な子どもと出会うこともできると、知らせてあげたい気持ちになりました。

○11月19日 令和2・3年度 印旛地区教育委員会連絡協議会指定 本城小学校算数科公開研究会について

コロナ禍ではありましたが、本城小学校で印教連指定の算数科公開研究会が開催されました。参観者は市内の教職員に絞っておりましたが、どの教室も10数名ほどの姿があり、盛況でした。指導に配慮を要する児童も多い中、どの教室も落ち着いて授業がなされていたように思いました。算数、数学科は成田市の学力が全国や千葉県と比較するとやや差を広げられている状況です。学力の底上げには小学校からの正しい理解が欠かせません。意味を理解することはもちろん大切ですが、授業を見る限り練習課題に取り組む絶対的な量が足りないようにも感じられます。これは市内のどの学校にも共通している課題なのかもしれませんが、特に小学校では「考え方」重視にとらわれすぎているように思えてなりません。私は、授業中のAIドリルの活用を含め、練習問題を数多くこなし、積極的に学びに向かう姿勢を授業の中で培っていく

べきだと思っておりますが、皆様はどうお考えでしょうか。

○11月19日 令和3年度 成田市・国際医療福祉大学 地域連携推進協議会について

年に1度、本市と国際医療福祉大学とで交互に分担して開催している協議会ですが、今年は本市の主催で行いました。それぞれ連携事業を含めた現状報告と課題について提案し意見交換を行っていますが、ここ数年、大学側では、体育施設、特に400mトラックの整備を要求しています。相互協力の体制は徐々に構築されてきていて、順調に進んではいるものの、施設整備は土地の確保という難しい問題もあり、思うようには捗りません。コロナ禍で様々な課題がある中、互いの歩み寄りが必要だと感じています。

○11月20日 PARA Beats! 共生社会を奏でよう。について

2020東京オリンピック・パラリンピック開催の決定を機に、始まった所謂オリパラ教育でしたが、本市ではパラリンピックに参加するアイルランドの水泳チーム事前合宿を行っていただくことで、共生社会構築の機運を高めるとともに本市の魅力を内外に発信しようというねらいがありました。今回開催されたイベントは、本市がパラリンピック後も継続して共生社会に取り組む意欲を示すものでした。今回のイベントには公津の杜中学校吹奏楽部と和太鼓奏者林田氏がプロデュースするジパングの和太鼓ユニットが共演し「PARA Beats」の演奏を奏でました。また、向台小学校のパラリンピック教育の様子も放映されるなど、子どもたちも関わって今後も継続して共生社会への取組みを行うことを宣言させていただきました。

○11月22日 臨時的任用職員採用試験について

コロナワクチン接種を行うための臨時的任用職員を採用するため、面接を行いました。若い人から年配の方まで幅広い応募がありました。3回目のワクチン接種は2回目接種から8カ月を経過したものから順に行うこととしていましたが、皆さんご承知のようにこの期間を速めて実施するようです。今また変異株が生まれてしまい、さらなる大流行も心配されています。市内でも現在、接種をしていない子どもが感染している状況になっています。ワクチン接種を確実に行うことが感染拡大を防ぐ大事なポイントだと思います。

○11月24日 千葉県学校健康教育功労者表彰の御祝いについて

学校歯科医の永井和広先生が、千葉県教育委員会より、千葉県学校健康教育功労者表彰を受賞されたことをお祝いし、学校保健会からの記念品をお渡しに行っていました。永井先生

は長く学校歯科医をお勤めになっておられ、現在、加良部に歯科医院を開業されておられます。大変穏やかな方で、お祝いの品をお持ちした時も、玄関先に出てこられ笑顔でお出迎えしてくださいました。歯科健診の際はとても丁寧に診てくださり、子ども達も安心して検診に臨めたと伺っていましたが、先生のお人柄がにじみ出ているようにも感じられました。今後も引き続き本市の子どもたちの健康な歯を維持するためにご尽力いただきたいと思います。

○11月24日 第5回成田市副校長・教頭研修会について

毎回、校長会議の後に開催している会議ですので、校長先生方に話した内容を教頭先生方にも同じように話、学校で情報を共有する際に漏れ落ちが無いように努めていますが、教頭は教員と校長をつなぐ大事な役目を持っています。学校運営を円滑にできるか否かは教頭の手腕にもかかっているのです。頑張ってもらいたいと思っています。

○12月8日 第6回成田市校長会議について

会議の冒頭で少し時間を頂いて各校の校長先生方にお話しさせていただきました。まず、ジェンダー平等の観点から、男女混合名簿の使用促進、制服選択の自由を強力に推進していただくこと、校則の見直しをすすめ、生徒が理解できる内容で最小限に留めること、自校職員の声に耳を傾け、それぞれの困り感を理解し、職員の支援にあたるような校長であること等、指導させていただきました。

○12月10日 千葉県北総教育事務所令和3年度末人事異動構想情報交換について

北総教育事務所管理課長と、第2回目の管理職人事ヒアリングを行いました。内容は1回目とほぼ同様ですが、北総管内では今年度も管理職不足の状況は変わらないようです。本市においても、現状で管理職候補者名簿に登載されている職員だけでは、来年度必要とされるポストを全て埋めることはできません。今年度の管理職選考において合格者が多数出ることを期待したいと思います。なお、まだ、人事は全く動いておらず、誰を異動対象とするか、管理職のポストがどれだけあるか、確認しているような状況です。今週末に行われる管理職選考第二次試験が終了した後、具体的な話が出てくるものと思っています。

○12月14日 第6回成田市副校長・教頭研修会について

8日に校長会議を開催しましたので、私の挨拶はそこで話した内容を確認の意味で簡単に話し、管理職としてMVP、即ち、Mission、Vision、Passionが大切、と

いう話を加えさせていただいたところです。校長会議もそうですが、挨拶だけしておしまいになってしまう会では、あまり意味がないようにも感じています。少しの時間でもいいので、共通の話題で議論の場が設けられたらいいなと思っているところです。

○12月16日 叙位伝達について

香取市にお住いで、平成29年に高齢者叙勲をお受けになられた元桜田小学校長の諏訪昌幹先生がお亡くなりになり、叙位を伝達させていただきました。諏訪先生は92歳、癌を患って闘病中だったようです。奥様に玄関先でお迎えいただきましたが、諏訪先生から、最後は自宅で過ごしたいとお気持ちを受け、ご自宅で看病を続けられたとのことでした。奥様も左手が不自由なご様子で、さぞ大変な日々であったろうと思われまます。ご冥福をお祈りしたいと思います。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：本城小学校算数科公開研究会に関して、算数、数学科のドリル重視についてですが、私も「習うより慣れろ。」ということでドリル重視の方が良いと思います。私自身、中学の頃、ドリルをしていただいたおかげで、数学の面白さに気づけたと思います。

次に、叙位伝達についてですが、諏訪先生の奥様は、私の小学2年生、3年生の時の先生で、先生に褒めてもらおうと一生懸命勉強したことを思い出しました。

片岡委員：参加させていただいたものについての感想となりますが、11月21日の家庭教育・地域教育力向上講演会に参加させていただきました。西郷先生のお話は、とても理想といますか、校則をなくすことはとても勇気がいることだったと思いますが、それを実現させるためにいろいろなご努力をされてきたことを本当に細かくお話くださいました。ただ時間がとても短い中でお話しされたので、ちょっと端折られてしまったところは残念に思いました。また機会がありましたら、成田にも来ていただきたいと思います。

また、入場制限があったと先程教育長からもありましたけれど、学校から何名と決まっていたらしいですが、希望者はもっといたようです。その学校からは何名しか行けないとか、このことすらも知らなかったお母さんもいたので、チラシだけでも学校に配布したほうが良かったのではと思いました。ただ、大ホールでの講演でしたので、もう少し入れたのではという印象でした。

堀越生涯学習課長：貴重なご意見をありがとうございました。講演会の開催にあたりましては、より多くの方に参加していただきたいと考えていたところではございますが、コロナ禍の状況を踏まえまして、人数を制限させていただいたという経緯がありますので、ご理解いただきたいと思います。当日の参加者につきましては、72名の方に参加をいただいたところでございます。また、周知につきましては、ホームページや広報なりの方では掲載しているのですが、今後より良い皆さんに周知していただけるような方法を考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

片岡委員：最後、西郷先生に質問していたお母さまがいらっしゃいましたが、時間の関係とはいえ、話がゆっくりできなかつたところが残念だったと言っていましたことをお伝えします。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号及び議案第2号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「令和4年度使用副読本の選定に係る調査員の委嘱について」

《審議結果》

可 決

議案第2号「成田市生涯学習推進協議会設置条例の一部改正について」

堀越生涯学習課長：

それでは、議案第2号「成田市生涯学習推進協議会設置条例の一部改正について」を、ご説明いたします。資料の2ページをご覧ください。

「成田市生涯学習推進協議会設置条例」でございます。生涯学習推進協議会は、生涯学習の推進に当たり、広く市民の意見及び要望を取り入れ、生涯学習に関する効果的な施策の展開に資するため、平成13年3月に設置されました。

所掌事務としましては、第2条の規定のとおり、「成田市生涯学習推進計画」と「成田市スポーツ振興マスタープラン」の推進に関することとなります。

その後、本市では、東京2020オリンピック・パラリンピックなどを見据えたスポーツツーリズムの推進に当たり、スポーツ団体や観光団体のみならず地域経済にかかわる様々な組織と連携した取組や観光施策と連動した取組の推進が必要であることから、市長事務部局が観光、スポーツ、文化を一体的に所掌し、事務を執行するため、平成29年度からシティプロモーション部を立ち上げ、スポーツ振興課を設置しました。

生涯学習推進協議会では、機構改革後も市長事務部局と教育委員会が連携して生涯学習及び生涯スポーツの推進を図ってまいりましたが、本年3月に策定した「成田市スポーツ振興マスタープラン」は、「成田市スポーツツーリズム推進協議会」を中心とした官民一体的な地域活性化を目指していくことや、トップスポーツの推進などを施策として掲げ、観光施策との連携をより一層強化した内容となっております。

このことから、市では令和4年度からスポーツの振興に特化した「(仮称)成田市スポーツ推進審議会」の設置を予定しており、これに併せて「成田市生涯学習推進協議会設置条例」の一部を改正しようとするものです。

改正する内容でございますが、資料4ページ「設置条例新旧対照表」をご覧ください。第2条、第3条、第8条に規定されている生涯スポーツに関する文言の削除や、部会に関する規程の削除などとなります。5ページの「委員名簿」をご覧ください。委員は、現在20名となっておりますが、条例改正後は、スポーツ部会に指名されている委員10名が、新たな審議会の委員となります。なお、本改正案につきましては、令和4年3月定例会市議会に提案する予定でございます。説明は以上でございます。ご審議の程、よろしくお願いいたします。

関川教育長：ただ今の提案に関し、ご質問等はございますか。

関川教育長：特にないようですので、議案第2号「成田市生涯学習推進協議会設置条例の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

《非公開を解く》

議案第3号「令和3年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」

葉山学務課長：

本表彰は、印教連表彰規程により、印旛地区の教育学術に功績のあった個人に対して表彰するものです。別紙資料2にあります「印旛地区教育委員会連絡協議会表彰規程」第2条1項「印旛郡市内に、長期にわたり勤務し、印旛教育に多大に貢献した者」同条2項「有益な研究考案、または発明をし、印旛教育に貢献した者」同条3項「前各号のほか表彰することが適当と認められる功績があった者」に該当する者を本市教育委員会として推薦しようとするものです。

議案のとおり、2条1項に該当する者として8名について、推薦を提案したいと思います。

それでは、推薦候補者の功績についての概略を説明します。議案の2ページをお開きください。

1番 成田小学校 竹尾 裕之 校長です。昭和60年、佐倉市立上志津小学校教諭、管内小学校教諭、成田市教育委員会教育指導課指導主事、教育支援センター所長、成田市立加良部小学校教頭、成田市教育委員会教育指導課副参事を経て、平成26年、成田市立本城小学校長。その後、富里市教育委員会参事兼学校教育課長、成田市教育委員会学務課長を歴任し、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

2番 久住小学校 相川 仁 校長です。昭和61年、成田市立成田小学校教諭、管内小学校教諭、佐倉市立根郷小学校教頭、成田市立新山小学校教頭。その後、成田市立玉造小学校教頭を経て、平成31年から現職となり、「夢をめざし心豊かにたくましく生きる児童の育成」を信条に学校経営に対して、手腕を発揮し、児童の育成、教職員の指導力向上に尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

3番 公津小学校 戸村 桂二 校長です。昭和63年、富里町立浩養小学校教諭、管内小学校教諭、八街市立川上小学校教頭。その後、八街市立朝陽小学校教頭を経て、平成29年、佐倉市立小竹小学校長。平成31年から現職となり、「心豊かで自ら学ぶたくましい児童の育成」を信条に学校経営に対して、手腕を発揮し、児童の育成、教職員の指導力向上に尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

4番 加良部小学校 佐藤 浩 校長です。昭和59年、成田市立吾妻小学校教諭、管内小学校教諭、教育庁教育振興部指導課指導主事、千葉県子どもと親のサポートセンター研究指導主

事、印旛郡印旛村立宗像小学校教頭、教育庁北総教育事務所管理主事を経て、平成24年、成田市立本城小学校長。その後、富里市教育委員会学校教育課長、同参事兼学校教育課長、富里市立富里南小学校長を歴任し、平成30年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、生徒指導の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

5番 新山小学校 石川 昭代 校長です。昭和60年、佐倉市立佐倉中学校教諭、管内中学校教諭、印西市立原山小学校教頭を経て、平成28年、成田市立平成小学校長。平成31年から現職。この間、学校経営において、その手腕を発揮するとともに、道徳教育に力を注いだ。特に印旛地区教育研究会道徳教育研究部会の研究部長を務めるなど、道徳教育の振興のために尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

6番 公津の杜小学校 半田 康 校長です。昭和61年、佐倉市立佐倉小学校教諭、千葉大学教育学部附属小学校教諭、佐倉市教育委員会指導課指導主事、学務課指導主事、佐倉市立佐倉小学校教頭、千葉大学教育学部附属小学校教頭、副校長、教育庁北総教育事務所指導室指導主事を経て、平成29年成田市立新山小学校長。平成31年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、国語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大きいということから推薦いたします。

7番 玉造中学校 平川 千秋 校長です。昭和59年、四街道市立四街道西中学校教諭、管内中学校教諭、成田市立玉造中学校教頭、成田市教育委員会生涯学習課副参事を経て、平成28年、成田市立久住中学校長。その後、富里市立富里北中学校長を経て、令和2年から現職となり、「徳・知・体の調和が取れ、自己肯定感をもった生徒の育成を図る」を信条に学校経営に対して、手腕を発揮し、生徒の育成、教職員の指導力向上に尽力した功績は大きいということから推薦いたします。

8番 下総みどり学園 三橋 良一 教頭です。昭和60年四街道市立四街道中学校教諭、管内中学校教諭、白井市立七次台中学校教頭、成田市立中台中学校教頭を経て平成30年から現職。この間、平成9年度から印旛地区教育研究会進路指導研究部役員、平成24年度から同副部長、また平成26年度から千葉県教育研究会進路指導研究部副部長、平成31年度から幹事を務め現在に至る。印旛地区内外において進路指導のために尽くした功績は大きいということから推薦いたします。

以上8名の方を本市教育委員会から推薦したいと考えておりますので、ご審議くださいますようお願いいたします。

《議案第3号に対する質疑》

佐藤委員：佐藤委員：先程教育長から、教頭先生で退職される方が3名と伺いました。その中で三橋先生1人を推薦するということですが、他の方と違う、特出しているところというのはいかなる点でしょうか。

葉山学務課長：印旛教育研究会から推薦をいただきまして、加えて進路指導のために尽くされた功績がありましたので、推薦をさせていただきました。

日暮委員：今のお話と少し通じますが、昨年度は全員校長先生のご推薦というように記憶しております。今年度は退職する教頭先生3名のうち、1名三橋先生のご推薦いただいたということで、私としてはうれしいな、という気持ちがございます。なぜかと申しますと、この功績を拝見いたしますと、三橋先生は印旛教育研究会の進路指導研究部ということで、若い時から長きにわたってご尽力されておりますが、進路指導研究部というのはとても地道な作業を行うところで、受験生が進路選択の参考となる新聞発表の事前の志願状況の集計等を一生懸命なさっていたり、ということをお記憶しております。ですので、三橋教頭先生が行ってきた地道な過程が認められたのだと思います。昨年度も申し上げましたが、校長先生、教頭先生に加えて、教諭層であったり、事務職員さん、養護教諭さんであったりと、地道に活動してこられた方を掘り起こし、推薦していただけるよう、今後ともよろしくお願ひします。

片岡委員：話が続きませんが、あと2名の教頭先生は印旛教育研究会から推薦されていなくても、こちらに挙げることはできないのでしょうか。例えばこの一覧表を見ると、印旛教育研究会から推薦されていない校長先生たちも3名入ってらっしゃるということなので、教頭先生2名も入れることは可能ではないのでしょうか。

葉山学務課長：校長先生方は長期にわたり教育功勞、ということとなっております。教頭先生につきましては、今までも印旛教育研究会からの推薦及び大きく功績のあった方々を選定しておりますので、今回につきましては長年勤められていたということで、功績がないということではないのですが、今回ははずさせていただきました。

佐藤委員：私としては、教育功労者というのはどんな先生も、退職される方みんながそれに値すると思いますが、やはり数が多すぎるので、校長先生は管理職として、責任者として一番大変な思いをしたから、基本的に校長先生を表彰していると解釈しています。

先程日暮委員からありました、三橋教頭先生は印旛教育研究会に多大なる貢献をした、ということで特別ではないかと思います。片岡委員からの「教頭先生にもあげればいいのか。」というご意見もありますが、そのようにすると、相当な数になると思います。印旛教育研究会の表彰というのは、難しいところがあると思います。

また、今日の議題は「推薦」ということなので、少しはずれるかもしれませんが、表彰規程第2条第2項の「有意義な研究考案、または発明をし、印旛教育に貢献した者」という規定は、若い方が功績を残したときに、表彰対象にならないと前に伺ったことがあります。若い時にもらってしまうと、辞めるときもらえないから、というような理由でした。しかし、それでは意味がないと思います。私としては、これは功労賞ではなくて、奨励賞のような感じで、別枠を設けてどんどん若い方に表彰していった方が、印旛の教育のためになるのではと思います。功労賞というのは、校長で退職される方に「今までありがとうございました。」という、別の意味合いではないかと考えています。これは議題と少し離れますが。

関川教育長：ありがとうございます。現在、佐藤委員は印教連の会長をされておりますので、貴重なご意見を伺いましたので、常任委員会の方でも今のご意見をお話をさせていただきたいと思います。

佐藤委員：今、常任委員会というお話がありましたが、佐藤浩校長先生は候補者でもありますし、選考委員でもあります。この辺りの会議運営が難しいので、もしできるのならば常任委員会の場で、「佐藤先生に関してはみなさん良いですね」というように決めていただいて、選考委員会の席で佐藤先生は、議論の除外ということで進められたら、本人もやりやすいのではと思います。

関川教育長：ありがとうございます。確認いたします。

関川教育長：その他ありますか。それではないようですので、議案第3号「令和3年度印旛地区教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について」を採決いたします。本議案に

賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第4号 「令和3年度末及び令和4年度成田市立小中義務教育学校教職員人事異動方針について」

葉山学務課長：

議案第4号「令和3年度末及び令和4年度成田市立小中義務教育学校教職員人事異動方針について」説明させていただきます。

お手元の資料の2～3ページをご覧ください。県費負担教職員の人事異動は、千葉県教育委員会の人事異動方針及び人事異動細目に則って行われますが、本案は千葉県教育委員会の方針等を尊重しつつ、成田市教育委員会としての人事異動方針を定めるものです。

今年度、県の主な人事異動方針につきましては、「定年退職する校長のうち、豊富な経験や優れた組織マネジメント力等を有する適任者を、従前の勤務実績、面接等に基づく選考により、校長として再任用すること」及び「再任用の任期更新は、職員の当該更新直前の任期における勤務実績が良好である場合に行うこと」が新規として記載されました。

本市の人事異動方針におきましては、主に変更必要箇所について検討いたしました。

では、資料4～5ページの「昨年度との対照表」をご覧ください。変更になった部分を中心にご説明いたします。変更点については、アンダーラインを引いてあります。

まず、「前文」および「1 基本方針」については、年度の変更、及び「障がい者」の表記を変更しました。

次に、「2 管理職」の(1)は「適任者を積極的に配置すること」としたこと。「3 一般職員」の(2)については、重複した文言を削除し「特色ある学校づくりを推進し、諸課題に積極的に対応するため、各学校が力を入れている活動の充実、強化のための体制づくりを支援する」と文章を整理しました。

また、昨年度まで記載があった「本市での永年勤続者で有能な教職員については、その能力が十分発揮できるよう千葉県教育委員会に対し格段の配慮を求める」は、項目ごと削除しました。最後に(5)につて、「大栄地区の学校については、義務教育学校の設置に向けた人事に配慮する」と記載されていましたが、本年4月に大栄みらい学園が開校したことから該当部分を削除しました。

以上で説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

《議案第4号に対する質疑》

片岡委員：「1基本方針」の「障がい」の「がい」が、なぜひらがなになったのですか。

多田教育総務課長：こちらは成田市全体として、だいぶ前、十数年前のことになりますが、「障害」の「害」の字はマイナスのイメージがあるということで、成田市で一般的な「障がい」という表記をする場合には、「がい」をひらがなにしております。

関川教育長：その他ありますか。それではないようですので、議案第4号「令和3年度末及び令和4年度成田市立小中義務教育学校教職員人事異動方針について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

(2) 報告事項

報告第1号「第2次成田市生涯学習推進計画の数値目標の結果について」

堀越生涯学習課長：

それでは、「第2次成田市生涯学習推進計画の数値目標の結果について」を報告させていただきます。

平成23年度を初年度とする「第2次成田市生涯学習推進計画」につきましては、昨年度をもって計画期間が終了となりました。計画では、生涯学習推進に対する活動の進捗や達成状況を検証するため、4つの数値目標を設定しており、数値目標の結果をまとめましたので、報告させていただきます。

お配りしました資料の9ページをご覧ください。

1つ目の数値目標は、「生涯学習を行っている市民の割合」です。毎年、市で実施している「成田市インターネット市政モニター制度」を活用して調査をしており、計画の目標値80%に対して、85.2%の市民が、「生涯学習を行っている・行ったことがある」との結果となり、目標を達成しました。

2つ目の数値目標は、「公民館・美郷台地区会館・生涯学習会館の市民一人あたりの年間利用

回数」です。計画の目標値2.3回に対し、0.73回で、大きく下回る結果となりました。

3つ目の数値目標は、「図書館の市民一人あたりの年間貸出冊数」です。

計画の目標値10.3冊に対し、7.41冊で、こちらも大きく下回る結果となりました。

4つ目の数値目標は、「ボランティア等登録者数」です。これは、市で運営しております「まなび&ボランティアサイト」の登録者数で、計画の目標値3,000人に対し、結果は906人となりました。

数値目標のⅡからⅣが目標に達しなかった大きな理由としては、計画策定時に、普及していなかったスマートフォンやタブレット端末などにより、学びの方法が多様化し、施設に行くことなく、本を借りなくても、様々な学習活動ができるようになったことが挙げられます。

さらに、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、施設の閉館や活動の自粛などがあり、減少傾向に拍車をかけた結果となりました。

なお、この結果につきましては、先月16日に開催されました生涯学習に関する審議会である「成田市生涯学習推進協議会」において報告をしたところでございます。報告は、以上でございます。

関川教育長：ただ今の報告について、ご質問等はございますか。

関川教育長：特に質疑等がなければ、以上で報告事項を終わりといたします。

6. その他

その他 「令和3年度千葉県教育功労者表彰の受賞について」、「令和3年度千葉県学校健康教育優良学校の受賞について」

廣田教育指導課長：

教育指導課です。資料はございませんが、2件の顕彰についてご報告いたします。

まずは、「令和3年度千葉県教育功労者表彰の受賞について」です。

千葉県教育委員会では、学校教育の充実に尽力された個人や団体に対して、その顕著な功績を讃える目的として毎年、表彰の機会を設けています。この度、令和3年度の千葉県教育功労者表彰の「学校教育 団体の部」において、成田小学校が表彰されましたので、ご報告いたします。

成田小学校は近年、造形教育の推進に取り組んでおり、研究テーマを「自分の想いを表現し、共に作り出す喜びを味わう児童の育成」として、地元アーティストとの連携や教科書教材の工夫等、全ての学校で取り組める図画工作科を目標に研究を進めてまいりました。

また、新学習指導要領における図画工作科での育成を目指す資質・能力を明確化させ、評価の在り方についても研究を進めてまいりました。

加えて令和元年度には、国立教育政策研究所指定の、「全国造形教育研究大会千葉大会『成田2020プレ公開』」を開催するなど、良質の教育実践を展開してまいりました。

昨年度予定されていた本公開は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を理由に、残念ながら中止となりましたが、このような取り組みや地域のモデル校としての役割を果たしてきた実績が、教育功労に相応しいと評価され、栄えて受賞の運びとなりました。

なお、受賞式典は、11月1日（月）にホテルポートプラザちばにて開催され、竹尾 校長先生が学校を代表して表彰状を受領されました。

加えて、個人の部では、加良部小学校の佐藤 浩校長先生が、長年の顕著な教育実践と学校運営への卓越した手腕を評価され、功労者表彰を受賞されました。功績の詳細につきましては、本会議資料の議案第3号の4ページに掲載されておりますのでご参照ください。

続いて、「令和3年度 千葉県学校健康教育 優良学校の受賞について」です。教育長報告事項でも触れられておりましたが、永井学校歯科医の受賞に加えての報告となります。

千葉県教育委員会では、学校健康教育の推進を図るため、学校保健・安全・給食の3領域において顕著な取組を実践している学校及び関係者に対して、毎年、表彰の機会を設けています。

この度、令和3年度の千葉県学校健康教育優良学校として、美郷台小学校が選出され、表彰されました。

美郷台小学校は、「自分の心身の健康に関心を持ち、進んで健康な生活を送ることができる児童を育成する」という学校保健目標を掲げ、教科による学習や学級活動と連携して健康教育を推進しております。

また、個別及び日常の保健指導と充実を図るため「5分間保健指導」と称した体重測定を定期的実施し、栄養不良及び小児成人病の予防と早期発見を目指した取組を実践しています。

加えて平成30年度には、千葉県教育委員会主催の薬物乱用防止教育研修会において、成田

税関支署の職員や学校薬剤師を講師に招くなど、地域の特性を活かした薬物乱用防止教室の実践を発表しました。

このような取組や地域のモデル校としての役割を果たしてきた実績が、健康教育優良校に相応しいと評価され、栄えて受賞の運びとなりました。

なお、受賞式典は、11月16日（火）に千葉市文化センターにて行われ、西宮 校長先生が学校を代表して表彰状を受領されました。以上です。

その他 「小・中学校就学援助費支給事業について」

葉山学務課長：

学務課より、「小・中学校就学援助費支給事業」についてお伝えさせていただきます。資料はございません。

本年8月に文部科学省が公表しました、令和4年度概算要求において、要保護児童生徒援助費補助金における「新入学児童生徒学用品費等」並びに「オンライン学習通信費」の支給単価の改定が要望されております。

内容といたしましては、「新入学児童生徒学用品費等」については、小学生で現行の51,060円から56,020円（+4,960円）、中学校で現行の60,000円から69,260円（+9,260円）、また、「オンライン学習通信費」については、現行の年額12,000円から15,000円（+3,000円）へ単価を引き上げるものとなります。

例年、次年度の国の単価改定等の有無につきましては、12月末頃に県を通じて公表されており、本市では、これまでも国において単価改定等が行われますと、所要の規則改正を行い、国に合わせて単価等の見直しを行っているところでございます。

本来でありますと、教育委員会の規則を改正する際は、教育委員会会議に規則改正についての議案をお諮りして承認を経たのち、庁内の調整会議、庁議といった順で付議していくこととなります。

しかしながら、本年度の調整会議の最終が1月21日となりますため、今後、規則改正の必要が生じた際には、令和4年度の支給事務を円滑に進めるため、1月の教育委員会会議にお諮りするより前に、先に調整会議の方へ規則改正を付議させていただく可能性がございますので、

このことについてあらかじめご了承くださいたいと存じます。よろしく願いいたします。

学務課からは以上でございます。

関川教育長：ただ今の案件につきましては、本来ですと、教育委員会会議で可決してからとなりますが、時間的に余裕がございませんので、庁内の調整会議にかけてから、教育委員会に提案するというところでよろしいでしょうか。

関川教育長：それでは、委員の皆様のご了承を得たということで、よろしく願いします。
他にその他事項はございますか。

日暮委員：表彰の話に戻りますが、公津の杜中学校が学校給食優良校として表彰されたことが広報なりに掲載されていたと思います。成田小学校の造形教育とか、美郷台小学校の学校健康教育についても、紙面の都合もあるかと思いますが、学校が頑張っていることを広報してほしいと思いました。

その他 「中学生からの意見について」

片岡委員：ご報告になりますが、先日、市長と中学生たちがお話する場を設けて、12月19日中央公民館で行った中で、教育に関していくつか意見が出ましたので、ご報告させていただきます。先程議題にもありましたが、ジェンダーの話がありました。「制服を選べたらいいのに。」と、悩んでいるお子さんが多いようです。「スカートが嫌だ。」「スラックス、ズボンが良い。」。高校生になると選べる学校があるようですが、中学校でも選べたらいいのに、という話をしている子がいました。

また、先生によって対応が違うことがある。例えば、「雨の中濡れてきたから教室にハンガーで制服を掛けていい。」という先生もいれば、別の先生は「ここはあなたの家じゃないんだから、ここに掛けるな。」と怒られた、という経験があるというお子さんがいて、先生の対応が違うということで戸惑い困ってしまうということがあるということです。

また、「ニュータウンの複合施設がどのようになるのか。」ということに気になっている中学生がいて、その中に「無料塾」があったらいいのに、と言っていたお子さんがました。実際に現在無料塾に通っていて、自分自身も教えたいし、学びあえる場が欲しい。もちろん教えてもらう経験も必要だけど、自分が分かっている問題を、友達に教えられる。そのような経験も必要だから、そういう場所が欲しいということで、複合施設にそういう場所を作ってほしい、というお子さんがいました。

先程もありましたが、オンラインの授業をやってほしい、という意見もありました。クラスの中にも1人や2人、不登校の子がいてとても気になっている。友達とのいざこざで、やられた側の子が、学校に来られなくなってしまう、というのはおかしいのではないかという意見を持っていた子がいて、オンラインで授業を受けられたらいいのに、と言っていた子がいました。

また、放課後や土曜日、日曜日になぜ学校開放がないのかと質問している子がいました。市長は「それは多分防犯上のことではないか。」とお答えしていましたが、昔のように学校が遊び場みたいには、なかなかできないのはいろいろな事情があると思いますが、学校など、子どもたちが安心して遊べる場所が欲しい、という訴えがありました。

また、話がずれますが、掃除をしているときに、なぜ紅白帽をかぶっているのは何の意味があるのか、というのがありました。確かに、そういうところを子どもは不思議に思いながら、でも先生から言われるからやる、生活の中で思っていることがあるけど声に出せないのだな、と思いました。

市長の方から「タブレットをみんなに配ったけど、何か困っていることはないですか。」という質問をされていて、その中で子どもたちが、先生の中でも慣れていない先生がいるということと、Wi-Fiがフリーズしてしまうことがたまにあることなどを発言していました。学年集会や全校集会等でタブレットを同時使用するとパンクしてしまったり、結局全員が見られない、という経験があった子がいて、なかなかWi-Fiの環境というのは難しいんだな、全員で使ってしまうと止まってしまうんだな、ということを書いてました。

関川教育長：今の内容につきましては、市長部局より報告をいただいておりますので、教育委員会でも承知しております。

7. 教育長閉会宣言